

3月の果実の見通し

令和4年2月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実 績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森	7533	75%	6883	260	高い	295	83	1.1%	青森産は貯蔵品のみのお回りとなる。全体の在庫量は昨年の概ね75%となっているので、市場入荷量もそれに伴った入り方をする展開が見込まれる。相場は先月同様高値で推移。
いちご	栃木 福岡 静岡 佐賀 ほか	5269	100%	5248	1371	並み	1281	0	0.0%	全国的に1番果～2番果の出荷にばらつきがあった。関東産地は3月上旬に3番果の出荷に入り、2番果と3番果の端境期に大きな谷はなく、中旬以降3番果のピークを迎える。九州産地も同様の出荷となる見込みだが、作柄のばらつきが多く見られる。大玉傾向の出荷中心となる見込み。
キウイ	福岡 和歌山 愛媛	974	100%	907	515	並み	508	-	-	順調な出荷が続き、和歌山産の販売は上旬で終了となり、愛媛・福岡産は3月いっぱいとなる。愛媛産に至っては品質低下によって出荷量は前年に比べ少なく、福岡産は前年並みを見込んでいる。
みかん類	静岡 長崎 熊本 ほか	2362	110%	1908	398	高い～ 並み	388	-	-	みかん類全体に平年より数量減、前進化のため、2月下旬以降の販売は悪くはなく、月を通じて販売は概ね順調。3月に入り、JAみっかび産「誉れ」などの特選品、香川・徳島産の貯蔵品のみのお回りとなるため、総体の価格は高値推移となる見込み。平年よりも品質が良いため、高品質タイプの貯蔵みかん自体の出荷量は昨年よりもある。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)
入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)